

# 木葉小便り

令和5年2月15日(水)発行

文責 校長 吉野 新吾



理科の実験楽しいよ!(4年生)

## 木葉っ子 育っています(その2)

校内を回っていたところ、低学年のトイレでスリッパを並べている1年生に出会いました。「えらいね。」と声をかけて、写真を撮らせてもらいました。(写真上)それに気づいた女子トイレから出てきた1年生の女の子も、ていねいにスリッパを並べてくれました。(写真下)

木葉小では、次の人への思いやりの気持ちを育成するために、「トイレのスリッパがきれいに並ぶ学校」を目指しています。前回お伝えした礼儀正しい女の子の姿に加え、素晴らしい子供たちが育っているようです。

子供たちのよい行動は、大人がしっかりと褒めていきましょう。



## 足を運んでみませんか?

県内のたくさんの場所で講演をされている坂口明夫さんの話を聞いてみませんか? 「なるほど!」と思わされる内容がたくさんです。おすすめです!

### 《講師プロフィール》



坂口 明夫(さかぐち あきお)  
社会福祉法人 甘木山学園 理事  
子ども家庭支援センターあまぎやま センター長  
児童養護施設 甘木山学園 支援部長

家庭、学校、地域からの相談等を受け、児童相談所や関係機関と連携し厳しい状況に置かれた子ども・家庭へのさまざまな支援活動を展開。子どもたちを支えるため「連携」・「協働」のあり方、「子育て」「発達しょうがい」「社会的養護」の理解を深め、子ども虐待防止に向けた講演やワークショップを続けている。

## 玉東町教育フォーラム

～子どもへのよりよい関わり方を学んでみませんか?～

子どもが言うことを聞いてくれない時、子どもの心の中で何が起きているのでしょうか。「何回も同じことで注意している気がする」「いつも子どもに怒っている気がする」と感じる保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ぜひ講演を聴いて教育や子育てのヒントをもらってみませんか?

日時 **2月24日(金)** 19:00~20:30 場所 **玉東町中央公民館 大研修室**

19:00 開会  
19:10~ 講演 『ひとりぼっちにしない子育て・子育て ~子どもアドボカシーとは~』

20:10~質疑・応答  
20:30 閉会



## 地域の声を大切にしていきます

登校時の学校正門下の通学路は、稲佐方面の登校班は左側歩行、山口方面の登校班は右側歩行。両側に子供たちがいることに加え、登校班を無責任に往き来する上級生がいて、車で通りづらく、危ないなあ…。



登校時の見守り当番の記録や地域からの声に、上のような意見がありました。



学校としても実際に状況を把握し、検討しました。そして、稲佐の登校班も国道から入って、右側を歩行することとしました。子供たちの安全に対して、意見を届けてくれた方に感謝しています。

今後も地域の方と共通理解をしながら、みんなで見守っていきたいと思います。お世話になります。